

魚津高校 第5回海外研修実施要項

1. 主旨

グローバル社会の中で活躍する人材育成のため、生徒が探究し、学んだことや自らの考えを、異文化を持つ人々に伝え意見を交換する機会を影響する。さらに、国際性の涵養を図り、高い志を持たせ、将来の進路選択の一助とする。

2. 具体的な目標

- ・ 英語による自己発信力やコミュニケーション能力を伸長させる。
- ・ ふるさと富山等について探究し、語学留学生徒の交流を通して異文化に対する理解を深めさせる。
- ・ 海外のトップレベルの大学生との交流を通して、主体性やチャレンジ精神を養い、将来の進路設計に資する。

3. 実施期日

令和5年12月5日(火)～12月13日(水) 9日間

4. 研修先

カナダ バンクーバー市

5. 主催者(旅行業者)

株式会社 アイエスエイ

6. 生徒一人あたりの参加費用

45,500円程度〔海外旅行傷害保険料その他個人的経費を除く〕

※ 費用は一部補助あり(紅奨学金)

校内事前研修

担当	対象	日程	時間	場所	内容
ISA①	生徒	10月16日(月)	15:40～17:10	被服室	オリエンテーション①
校内①	生徒	10月24日(火)	15:40～16:40	被服室	意見交換①(英語科)
ISA②	生徒 保護者	11月1日(水)	18:00～19:30	記念館90	オリエンテーション② 渡航最終説明会
校内②	生徒	11月9日(木)	15:40～16:10	被服室	意見交換②(英語科)
校内③	生徒	11月13日(月)	15:40～16:10	第一選択教室	カナダ事情(地歴公民科)
校内④	生徒	11月22日(水)	16:30～17:00	被服室	意見交換③(英語科)

7. 参加生徒

1年生9名・2年生10名 計19名

(同行教員2名、添乗員1名)

研修日程

日次	日付	都市名	時間	交通機関	スケジュール	食事		
						朝	昼	夕
1	12/5 火	黒部宇奈月温泉駅 成田空港着 成田空港発	11:00 15:00 18:30	電車 AC004	所定の場所に集合 バンクーバーへ向かう ■■■■ 日付変更線通過 ■■■■		各自	機内
		バンクーバー着	10:00 午後	専用バス	入国審査後、専用バスにて研修地へ向かう グランドヒルアイランド観光、昼食、バーナビービレッジ博物館観光 その後 ホストファミリーと対面、ホームステイ開始 (ホームステイ)	機内	各自	○
2	12/6 水	研修地	午前 午後		英語レッスン(オリエンテーション等)周辺の地域散策 (ホームステイ)	○	○	○
3	12/7 木	研修地	終日	専用バス	ブリティッシュコロンビア大学訪問 (学生によるキャンパスツアーを含む交流) (ホームステイ)	○	○	○
4	12/8 金	研修地	終日	専用バス	バンクーバー観光(スタンレーパーク、ギャスタウン、オリンピック聖火台) ログソンストリート観光、バーナビービレッジ博物館 ホッケー観戦 (ホームステイ)	○	○	○
5	12/9 土	研修地	終日		ホストファミリーと過ごす (ホームステイ)	○	○	○
6	12/10 日	研修地	終日		ホストファミリーと過ごす (ホームステイ)	○	○	○
7	12/11 月	研修地	午前 午後		英語レッスン(スピーチ、研修まとめ)クラフト作り、修了セレモニー (ホームステイ)	○	○	○
8	12/12 火	研修地発 空港着 バンクーバー発	午前 13:50	専用バス AC003	荷物をまとめ、空港へ移動搭乗手続き 成田空港へ向かう (機内泊)	○	各自	機内
9	12/13 水	成田空港着 成田空港発 黒部宇奈月温泉駅	16:50 18:00 23:00	電車	到着後、電車に乗り換。解散	機内		

☆利用航空会社…エアカナダ(AC)

☆食事条件用語の説明…機内：機内食 ○：手配あり 各自：各自にて -：提供なし

☆時間帯の目安…早朝：04:00-06:00 午前：06:00-12:00 午後：12:00-18:00 夜：18:00-23:00 深夜：23:00-04:00

1日目：出発式～バンクーバー

12月5日、少し寒い中、黒部宇奈月温泉駅にてまず出発式が行われました。親や先生方に別れを告げてから、新幹線で東京駅、そこから乗り換えて電車で成田空港へ移動しました。移動中は課題や勉強をしている人も多く、魚津高校生の鑑だと先生も感心しておられました。

成田空港では、昼食を済ませた後、搭乗手続きを行いました。不慣れた作業に少し困惑しましたが、何とか無事に行うことができました。

1日目は移動ばかりしていたので少し退屈で、すごく疲れしました。搭乗手続きや出国審査など緊張する場面も多かったです。

また、飛行機に乗り込み、動き出した瞬間、いよいよ海外に行くんだという実感を感じる一方で、墜落してしまうのではないかと不安に駆られました。しかし、飛行機内はとても安全であり、快適なフライトでした。映画鑑賞に夢中になって全然寝られなかったことは少し残念でした。



宇奈月温泉駅で出発式が行われてから新幹線で東京へ、成田エクスプレスで成田空港へ移動しました。その後、成田空港で昼食をとり、しばらく空港内を回ってから搭乗手続きをしました。

搭乗手続きが終わったあとは、飛行機に乗りました。その飛行機は50分程遅れたものの何事もなくバンクーバーに着くことができました。途中、乱気流があるところを通りましたが海外までの道のりを知ることができて良かったです。



搭乗手続きの際、一人だけ行けないようになってしまわないかと、とても心配で緊張していましたが、無事に全員が通ることができました。飛行機内では機内食や東京の夜景、日の出などという初めての経験をしました。ですが飛行機内でのスペースが狭く、身動きがとれない状態だったのでずっと体が痛かったです。そのときはまだ時差ぼけがどういうものなのか詳しくは分からないし、寝る時間も多く確保されているわけでもなかったので少ししか寝られませんでした。

2日目:Granville Island & Burnaby Village Museum ~ホストファミリーと対面

バンクーバー空港を出た後、私達は Public Market で昼食を食べました。日本では見たことのないような食材やお菓子が並んでいて、とても面白かったです。私はイエロードラゴンフルーツとドーナツピーチが印象に残っています。次に私達はバスで Burnaby Village Museum に行きました。レトロな街並みがとてもきれいで、蒸気機関車やメリーゴーランドなどもありました。建物の中にも入ることができ、カナダ版白川郷みたいだと感じました。観光客の男性が「写真撮りたいんだけど背景どこがいいと思う?」と尋ねてきて、写真を頼むでもなく見ず知らずの人に意見を聞くところが海外だなと感じました。

その後は、ホストファミリーと初対面。家に向かう車の中ではホストマザーがたくさん話しかけてくれました。途中スーパーに寄ったりしながらも家に到着。夕食は家族全員で食べました。出てきたご飯はアラビアン料理でとても美味しかったです。食後は日本からのお土産を渡したり、家でのルールを教えてもらったりと緊張しながらもなんとか会話をすることができました。



私たちは、バンクーバー空港に着いた後、Granville Island に向かいました。そこでは、風景を楽しみながら昼食をとったり、買い物をしました。初めてのバンクーバーでの食事はボリュームがあって驚きました。その後、Burnaby Village Museum に行きました。そこでは、昔のカナダの雰囲気を味わうことができ、歴史を感じました。メリーゴーランドがこのミュージアムにあり、研修メンバーは楽しんでいました。また、12月ということもありクリスマスツリーがたくさん飾られていて、クリスマスの雰囲気も楽しむことができ、充実した日になりました!

ミュージアムを訪れた後、私達は study center に向かい、ホストファミリーと対面しました。わくわくした気持ちと同時に緊張感もありました。家に着いて、ホストファミリーと夕食の準備をしながら日本やカナダでの習慣や趣味など様々な話をして盛り上がりました。その後、お風呂に入ったのですが、お湯の調節や水圧に戸惑い、日本がすごく快適なんだなと感じました。時差ボケや初めての体験でとても疲れを感じましたが、ホストファミリーの優しさを感じ一日を楽しく終えることができました。



3日目:スタディーセンターでオリエンテーション~レッスン(挨拶、お金について)~Coquitlam Centre Mall shopping

この日の午前中はスタディーセンターでまずホームステイのオリエンテーションやアイスブレイキングをしました。オリエンテーションではバスルームの使い方やホストファミリーとの接し方を学びました。カナダで人と話すときのタブーは宗教、年齢、政府、人の見た目だそうで、あまり日本と変わらないのだなと驚きました。アイスブレイキングでは生徒同士で英語で簡単に話したり、人間知恵の輪をして交流を深めました。人間知恵の輪とは、何人かの人で手をつないでできた知恵の輪を人が跨いだりくぐったりして最終的に一つの輪にするというゲームですが、20人近くいたため複雑すぎて途中であきらめてしまいました。でも自分は楽しかったです。

ゲームが終わって少し休憩した後、カナダの通貨について学びました。カナダのコインには5セント、10セント、25セント、1ドル、2ドルの五種類があり、しかもそれぞれのコインにはニックネームがつけられており、そこが日本の硬貨と異なるところだと思いました。また、日本の硬貨は大きいほど価値がありますが、カナダは不思議にも10セント硬貨よりも5セント硬貨のほうが大きいことにも驚きました。このレッスンで学んだ知識はこの後のショッピングでたくさん生かすことができました。



午前中はスタディーセンターで様々なことを勉強しました。最初はホームステイでの基本的なルールやカナダでのマナーについてです。自分の意思をはっきり伝えることが大切と教わりましたが、一方でタブーな内容は自分から話してはいけないとも教わりました。英語ではトイレはシャワーと併設されていることが多いので、Where is the toilet?と聞くのではなくWhere is the bathroom?と言うのが正解らしいです。その後はみんなでアイスブレイクとして英語での会話や人間知恵の輪をしました。(もちろん英語だけで)ゲームを通じて海外研修の仲間たちと仲を深めることができ楽しかったです。

僕が最も印象に残っていることはカナダの通貨についてです。硬貨はセントとドルで5種類あり、それぞれ愛称がついているそうです。5セント硬貨がニッケル、10セント硬貨がダイム、25セント硬貨がクォーター、1ドル硬貨がルーニー、2ドル硬貨がトゥーニーです。お札は主に使われているのが5ドル札、10ドル札、20ドル札です。ただし日本のお札と素材が全然違って匂いも独特のものでした。ここで学んだことを生かして午後はショッピングに行きました。



4日目:UBC 訪問、学生と交流会、キャンパスツアー

4 日目はスタディーセンターからバスで 1 時間かかる場所にある UBC 大学に訪れました。私たちはまず UBC 大学で現地の学生さんと英語を使った会話でコミュニケーションを取りました。5 つのグループに分かれて、学年や専門学科の違う 5 人の学生さんとローテーションをしながらたくさんのお話をし、お互いの意見を交換し合いました。その後は学生さんにキャンパス内を案内して頂きました。私たちの好きな教科に関わる場所や UBC 大学の魅力的な建物などを案内して頂き、UBC 大学が学業、スポーツに多く力を注いでいることを実感しました。午後からは UBC Bookstore を訪れました。UBC 大学の洋服やキーホルダーなどのグッズやカナダ名物のメープルシロップやお菓子などが店内に並んでいたため、私たちはとても迷いながらお土産を選びました。

学生さんとの交流会では、自分の趣味や好きな教科について英語で話し合いました。英語で自分の伝えたいことを話すことは難しかったけれど、学生さんに伝わったときはとても嬉しかったです。英語でコミュニケーションを取ることを楽しめました。キャンパスツアーでは、キャンパス内にある生物学に関する博物館や映画のハリーポッターに出てくる建物に似ている図書館などを訪れました。UBC 大学は広大な土地と自然が広がっており、またアジア系の学生も多く見られました。将来の進路について沢山考えることができました。



12 月 7 日 木曜日、1 時間スクールバスに乗って、UBC—The University of British Columbia—を訪れました。私たちは教室の一室で UBC の学生さんとローテーションしながらお話をしました。これまでの旅やカナダについて、また私たちの街について聞かれることもありました。グループに 1 年生は私 1 人で、英語で自分の意見を言うのが最初は怖かったけど、先輩方のサポートを受けつつ、楽しく学生さんとお話してきました。その後、学生さんに UBC を案内してもらいました。聞いたところによると、UBC は、東京ドーム 86 個分の敷地面積があるそうです。全ての施設を見ることこそ叶いませんでしたが、楽しい UBC ツアーができました。ツアー後、UBC 構内でホストマザーが用意してくれた昼食を食べてから、UBC 書店に行きました。カナダのお土産や UBC のグッズがたくさんあり、みんな自分や家族や友達へ、思い思いのお土産を買っていました。

UBC に到着してバスから降りた瞬間、目に飛び込んできたのは、サンタ帽を被ったクリスマス仕様の学生でした。集団で歌い騒ぐ姿を見て、UBC の学生はユニークだなあ、と思いました。UBC 書店での買い物で、集合時間が近づき焦っている中、店員さんがレジを放って電話したりお客さんと話したりしている姿を見て衝撃を受けました。最初はそんな店員さんにイライラしたのですが、それくらいの余裕があるからこそ、カナダの人たちはハッピーに笑顔で過ごしているのかな、と考えました。結局レジは場所が間違っていて、正しいレジを探して書店を駆け回るはめになりました。



5日目：バンクーバー観光(スタンレーパーク、Canada Place、ガスタウン、Robson Street、Lougheed Town Centre Mall、アイスホッケー試合観戦)

12月8日金曜日、曇りや雨が続くバンクーバーでは珍しい清々しい晴天でした。ホストファミリーも「珍しい、晴れの日には放射冷却で一段と寒くなるよ」と言っていました。私たちはスクールバスに乗って Stanley Park に行きました。Stanley Park は半島の先端に位置する405ヘクタールの広大な公園で原生林が多く残されていると Lynn 先生が説明してくれました。神々しく太陽を背景にしてダウンタウンのビルの大きな群像が港を挟んで眺めることができました。大きな鳥(ガチョウのようなもの)が公園内で食べ物を探して群れを成していました。飛行艇が対岸の富裕層が坂に家を建てて、多く住むといわれている南バンクーバーにたくさん飛んでいくのを見ました。対岸の港にはマッチの火薬の原料になる硫黄が積み上げられた大きな山がありました。

海岸には公園を一周できる遊歩道や灯台があり、私たちはそこでバラード入り江とグラウスマウンテンを背景にして集合写真を撮ってもらいました。その後少し場所を移動して対岸へ渡る大きな橋ライオンズゲート橋がよく見えるスポットに行きました。その展望台で西バンクーバーやこれから航海に向かう貿易船の出口ジョージア海峡、ライオンズゲート橋を眺めました。次の目的地へ行くバスに乗る前、公園の林でリスを見かけました。バスの中からは、イングリッシュ・ベイが見えました。



Stanley Park を観光した後、私たちは Gastown に行きました。バンクーバー発祥の地ともいわれることがある Gastown は石畳の道が続き、ビクトリア朝の建物やめずらしいスチームクロックが見られる、古い時代の魅力がいたる所に残るエリアです。めずらしい建物や風景に高揚感を抱きながら、なかなか見ることのできないスチームクロック眺めました。その後、お土産店に行き 40 分程度買い物をしました。なんとそのお店では私たちが持っている名札を提示すると 10%off にしてくださいました。クラスや部活の仲間、家族などにお土産を買うため、相談しながら選びました。いろいろなものがあり、何をかうか迷いながらの買い物でしたが、とても楽しい時間でした。

Gastown の後、Robson Street と Lougheed Town Centre Mall に行きました。それぞれ1時間ほど自由時間があり、私は友達と買い物などを楽しみました。私が特に印象に残っていることはスターバックスで飲み物を買ったことです。商品を受け取る際に名前を呼ばれ、カップに貼られているシールに名前が書かれていました。日本では経験したことがなかったので良い思い出になりました。店員さんと英語で会話するチャンスだったこともあり、買い物が本当に楽しく、充実した時間になりました。



Stanley Park、Gastown を観光した後、私たちは Poirier Sports Centre という所で Coquitlam Express VS Langley のアイスホッケーの試合を観戦しました。私たちはホームの Coquitlam Express (赤と緑のユニフォーム) の応援をしました。アイスホッケーの試合は見たことがなく、ルールもほとんど知らなかったので試合開始前からとても楽しみでした。また、多くの人はお店でホットドッグやホットチョコレートなどを買って試合が始まるのを待ち望んでいました。いざ試合が始まると会場は最初から大盛り上がりでした。両チームの選手たちが激しく体を当てあい、小さなパックをスティックで奪い合っている光景はとても迫力があってとても面白かったです。

また、パックは小さいうえに氷上をととても速く滑っていて目で追うのも大変なのに、選手たちはパックを見失うことなく氷上を滑って競り合っていることがすごいと思いました。特に面白いと思ったのはホームの Coquitlam Express が点を決めた時、試合途中にも関わらず観客が総立ちでコート内にぬいぐるみを投げ込んでいたことです。私たちは試合を途中までしか見れず、その時は1-3で負けていたのに、私たちが帰宅した後 4-3 で大逆転勝利したことを知り、最後まで見たかったなと思いましたが、とても楽しかったです。良い経験になりました。



6日目:週末土曜日、ホストファミリーと過ごす

ホストファミリーと過ごす一日目の土曜日はあいにくの雨で私たちは家の中で1日過ごしました。前日はアイスホッケーの試合を見て帰る時間が遅かったので、午前中いっぱい寝ていました。起きたら、ホストファザーが昼食を作ってくれていて、一緒に話をしながら楽しんでお昼の時間を楽しむことができました。その後は、ホストファミリーの家にあった大きなプロジェクターで映画を見ました。ホストマザーがポップコーンを用意してくれて実際に映画館で映画を見ているような気分になりました。1日の最後にホストシスターがクッキー作りに誘ってくれて、一緒に型抜きをしたり、クッキーをデコレーションしたりして充実した1日になったと感じました。

私は平日の少しのホストファミリーとの会話も緊張していたので、休日はちゃんとコミュニケーションがとれるのが心配で仕方がなかったのですが、平日よりもホストファミリーと会話できる回数も時間も増えたことで少しずつ質問に答えたり、自分から分からないことを聞いたりすることができるようになってとても嬉しかったです。また、自分が上手く英語で話せなくても、ホストファミリーのみんなが親身になって聞いてくれたおかげで安心して話すことが出来ました。



休日だったので、前日に目覚ましをセットせずに寝たら、起きたときにはもう昼食の時間で驚きました。自分たちの洋服を洗濯しなければいけなかったのですが、私たちだけでは、どうすればいいのかわからず、ホストマザーに教えてもらいました。本当は、午後から出かける予定でしたが、雨がひどかったので、家で過ごしました。映画を見たり、お土産を渡してお話したりしました。夜にはホストシスターに誘われて、三人でクッキーを作りました。ホストシスターが他のお菓子やココアを作ってくれて、充実した時間を過ごしました。他にも、日本から持ってきたお土産を渡して、会話したりしました。

平日は時間もあまりなく、ホストファミリーも忙しかったので、ホストマザー以外とはあまり話せていなかったけど、土日は、たくさん交流する時間があって、仲良くなれた気がします。ホストファミリーが、日本や私たちのことについてたくさん質問してくれて、私も会話することができました。出かけることはできませんでしたが、ホストファミリーの優しさにふれて、素敵な休日を過ごすことができました。



7日目:週末日曜日、ホストファミリーと過ごす

私が日本から持ってきた氷見うどんを夜ご飯に作りました。ホストマザーに「うどんを夜ご飯に作りたい」と言って写真を見せたら、「私この天ぷら作れるよ」と言ってエビの天ぷら(エビフライ)を作ってくれました。このエビフライがとても美味しくて箸が止まらなかったです。夜ご飯は、ホストマザー同士が友達のゆいちゃん、かほちゃんと、ホストファミリーで食べました。うどんが好きなホストブラザーが「とても美味しかったよ!ありがとう」と言ってくれてとても嬉しかったです。(右下の写真)食後にはホストマザーと4人でモノポリーをして遊びました。大富豪の人もいれば貧乏人もいてとても面白かったし、英語の勉強にもなりました。

私とあみちゃんとホストマザーでコキットラムセンター(ショッピングモール)に行きました。スーパーでカナダのお菓子やお土産をホストマザーに教えて貰って安くてもいいお土産を沢山買いました。その後、ティム・ホートズのホットチョコレートを飲んだり、ボディショップで商品を試したりして女子会みたいでとても楽しかったです。買い物から帰った後、私とあみちゃんとゆいちゃん、かほちゃん、ホストマザー、ホストブラザーで折り紙をしました。ホストマザーは折り紙が好きみたいで、熱心に鶴の折り方を覚えようとしていました。みんなで鶴やクローバー、お花などを折ったりしてプレゼントしました。とても喜んでくれて私達もとても嬉しかったです。



起きてからジンジャーブレッドハウスをなぎさと2人で作りました。何度も家が崩壊しましたが、自由にデコレーションができてとても楽しかったです。そのあと、ゆい・かほと、二人のホストファミリーであるジョシー・マイクの6人でLafarge Lakeのイルミネーションを見に行きました。少し雨が降っていましたが、日本では中々見ることの出来ない光の数のイルミネーションに感動しました。次に、一般家庭のイルミネーションを見に行きました。一般家庭とは思えない程の飾りの多さに驚かされました。(右下の写真)小さなキャンディをひとつ貰いました。帰り道にティムホートズでそれぞれドーナツやクッキーなど甘いものを食べました。どれもおいしそうでした。

ジョシー・マイクの家に戻ってきてからVRを初めて体験しました。本当にジェットコースターに乗ったみたいで、とてもハラハラしました。ゆい・かほが白玉ぜんざいを作っている間にジョシー・なぎさの二人とUNOをしました。ゆいとかほが作ってくれた白玉ぜんざいはとても美味しくて、日本を思い出す味でした。その後、なぎさ・ゆい・かほの三人と一緒に花札をしました。花札は初めてだったのですが、かほがルールを教えてくれたおかげで楽しく遊ぶことができました。とても充実した一日になりました。



8日目:スタディセンター英語レッスン(手紙、研修まとめスピーチ、クラフト作り、ダンス)

この日はいつも通り 8:00 に STUDY SENTRE に全員集合してから、海外研修で行ったことについてのまとめの SPEECH を行いました。今まで自分たちが VANCOUVER で見聞きした事、それについて何を感じ、どういう気持ちになったのかをそこで体験してきたことを踏まえて発表しました。感想は十人十色でそれぞれ異なることを感じ取っており、どの SPEECH も聴きごたえがある内容だったと思っています。SPEECH の発表会がひと段落すると、今度はそれぞれの HOST FAMILY に感謝の気持ちを伝える THANK YOU カードを書きました。一週間ホームステイさせてもらったありがたさを一枚の紙ごときでは到底伝えられるはずもなく、全員四苦八苦しながら何とかこの溢れんばかりの想いを伝えられないかと考え抜きました。

隣の写真は THANK YOU カードを作っている様子を撮ったものです。この写真を見てわかるように、みんなが THANK YOU カードを作ることに苦労していることが分かります。しかし、この手間のおかげで全員が素晴らしい THANK YOU カードを作ることが出来たのだと思います。ちなみに、この日は HOST FAMILY が昼食を作ってくれる最後の日でした。LUNCH TIME は THANK YOU カードを作った後だったので、ただでさえ感謝の気持ちでいっぱいなのに、おいしい昼食が私たちの感謝の気持ちをカンストさせました。



午後からはドリームキャッチャー作りとダンスを踊りました。ドリームキャッチャーを部屋に飾っていると持ち主の悪夢をキャッチしてくれるため悪夢を見ることなく過ごすそうです。ダンスは動物の被り物をして動物のダンスをするというものでした。動物は狼や熊、クジラなどがあり動物によって決められた動きをしないといけませんでした。動物役以外の方はタンバリンのような楽器かマラカスのような楽器で演奏していました。みんなちょっと恥ずかしさはあったと思いますが、楽しそうに踊っていました。その後私たちは、修了証というものを受け取りリー先生とはお別れをしました。

右の写真は完成したドリームキャッチャーです。ドリームキャッチャーは想像よりも作るのが難しく形がいびつになったり、壊してしまう人もいました。ですが、最終的にはみんな完成させることができました。これからは、みんな悪夢を見ることなく過ごすと思います。



9日目：荷物をまとめ、スタディセンターからバンクーバー国際空港へ、出入国審査、帰国、帰宅、15日(金)校長室で解散式迄

今日はみんな朝から日本に帰る準備を済ませてホストファミリーに感謝を伝えて家を出てきました。いつも通っていた集合場所から空港までバスで1時間ほど移動した後、スーツケースの検査と荷物の検査がありました。僕は成田空港からの出国時に荷物がはじかれて全部検査されたので荷物検査はとても緊張しました。でも帰りの荷物検査は異常がなく問題がありませんでした。とても安心しました。

カナダに来た最初のころは、不安や緊張の心が大きく普段できている英語すらも話せなかったり文法がおかしかったり英語で話しかけられたときに少し身構えることがあったが、今では簡単なことだったら流暢にかえすことができるようになりました。僕も、友達も今までに感じたことがないくらい早く過ぎていく9日間だったと感じています。右の写真は日本についた時の写真です。みんな10時間のフライト後でとても疲れています。



帰国してから2日後の、12月15日に校長室で解団式を行いました。まだ時差ボケを引きずっていたり、徐々に授業を受けたりしたからなのか、心なしか皆の顔が疲れていました。スーツケースは今日届くやら、いつお土産を渡そうかなどと、他愛もない話に花を咲かせつつ、式が始まるまで待っていました。式では、2年生の西山先輩が、代表で印象に残ったことなどを話されたり、校長先生がこの貴重な経験を学校生活に活かしてほしいという、お言葉をいただいたりしました。大きな事故もなく、団員皆で無事に帰ってこられたことを本当にうれしく思います。

僕は、あまり時差ボケはなくそこまで眠くなかったのですが、とてつもなく疲れていたのと、週末課題の多さに打ちひしがれていました。解散式を経て、達成感と、これで海外研修は完全に終わってしまったのだな、とほんのりさみしさを感じていました。校長先生からもお聞きしたように、今回の経験を学校生活はもちろん、日常生活でも積極的に活かしていけたらなと思いました。そして、改めて様々な方の協力があってこそその成功であったことを感じ、とても感謝しています。





INTERNATIONAL TRAINING



Memories of Vancouver



Many valuable experiences

